



## ～これからが、これまでを決める～

本日をもって、令和7年度の課業日が終わりました。お子様にとって、そして保護者の皆様にとって、この一年間はどのような時間だったでしょうか。

本日、修了式において「これからが、これまでを決める」という話をしたところです。先日、たまたま読んだ本でこの言葉と出会いました。当然ながら、「これまでが、これからを作る=これまでの努力が、これからの挑戦の土台となる。」の捉えが、自然な流れ、考え方だと思います。だからこそ、真逆である「これからが、これまでを作る」はとても新鮮な響きでしたし、同時に“なるほど”とも思いました。

もっとも、私が最初に感じた“なるほど”は、「そうか、“これから”しだいで、“これまで”の失敗は取り戻せるという意味なんだな。」「“これから”の頑張りで、“これまで”の努力が実を結ぶということも言えるな」との解釈にとどまるのですが…。

よくよく本を読み進めてみると、私の解釈と違う様々なことが分かりました。整理してみますと、

- 「これからが、これまでを決める」という言葉は、浄土真宗のある僧侶の言葉であること。
- “これから”は遠い未来のことではなく、“今、この瞬間から始まるこれから”を指すこと。
- 大切なのは“おかげさまで”と思える心。「自分の力で切り拓く!」のではなく、“おかげさまで”の心を持つことが肝要。
- “おかげさまで”と思えた、今・この瞬間から、これからが始まり、同時に、これまでという過去の出来事への意味付けも始まる。それは、やがて、未来への希望にもつながる。
- 悲しい出来事や失敗という事実が変わることはなくとも、そのことが自分にもたらす意味は変化することもあること。
- 「おかげさまで、今こうして自分はここにいるんだな」人はそう思えたときに、過去の出来事の見え方が変わる。 といった内容です。

「我が 我がの「我」を捨てて、<sup>が</sup>

おかげ おかげの「下」で生きよ」という言葉があります。「おかげさまで」の気持ちを持つということは、「自分一人で生きているわけではない」ことに気づくことなのでしょうね。

## 1・2年生の3学期「通知表」

1、2年生の学校生活を、次の3観点において、5段階評価します。



### 【「優しさとさわやかさ」のあいさつ】…「3」

明峰中の校区では、朝、たくさんの地域の方が子供たちの登校の様子を見守ってくださいます。その方々から「今日も中学生の挨拶に元気をもらいました。」とお聞きすることも増えました。私も「校長先生、今日も頑張ります!!」の1年生〇君の挨拶にいつも励まされます。^.^

しかしながら、「おはよう」の声に無言で通り過ぎる残念な姿も散見されます。～出会った人に優しさとさわやかさをプレゼントできる明峰中生～のフレーズが“羊頭狗肉”とならぬよう、ここは頑張りどころ!! しつこいですが、

◇「学校外でも」「制服を着替えても」

「一人の時でも」挨拶はできるか。

◇「誰に対しても」は大丈夫か。

理想は、常にこの2つです。



### 【行事への取組とその前後】……「4」

3学期は、大きな行事自体が少ない学期ですので、評価の場面は限られることになっていきますが、機会あるごとに集団が醸す雰囲気が高まったことを感じます。去る10日の卒業証書授与式において、何人もの「在校生」が涙を流していた姿に感激したと多くのご来賓の方がおっしゃっていました。

さてさて、先輩たちが作りあげた「歴代最高の体育大会」にどこまで迫ることができるか…。令和8年度の体育大会までもう2か月を切っています。

### 【生徒同士の相互承認】…「2」

残念ながら、個々の自由が相互承認されるという理想には遠い実態です。それどころか、誰かの一生懸命を嘲笑したり、誰かの真面目さを侮辱したり、誰かのつまずきを揶揄するような寂しい姿が散見されることも事実です。1人でもそのようなことで傷つく人がいれば合格点には届きません。

今、節目のとき。左に書いたように「おかげさま」の気持ちに立つためにも、心穏やかに自分自身を見つめること、御家庭でもお声掛け願います。

## 明峰中学校は、令和8年度から

**コミュニティ・スクールを導入します！！**

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」という組織を設置した学校のことを言います。これは、法律によって定められたものです。昨年度末の段階で、長崎県内においては約3割程度の小中学校がコミュニティ・スクールを導入している状況でしたが、この度、明峰中学校でも学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールへの歩みをスタートさせることとしました。

学校運営協議会という組織には、法律において次の3つの権限が付与されています。

- ①校長の作成する学校運営に関する基本方針について「承認」を与えること。
- ②学校運営について、校長に意見を述べること。
- ③教職員の任用について、教育委員会に意見を述べること。

学校運営協議会には、これだけの権限が付与されると同時に、校長とともに学校運営に携わる者としての責任も求められます。権限を持つと共に、責任を負う人たちの集まりということになります。

コミュニティ・スクールを導入する目的は、各学校の実態に応じてそれぞれです。本校においては、当面の目的を、“この先、校長が代わる時が来ても、明峰で育つ子供たちのために大切にすることを持続するための体制づくり”としました。

去る3月12日に、第1回目の「学校運営協議会」を開催したところです。先述の目的を達成する手ごたえを感じる会となりました。

※本校においては、11名の方に学校運営協議会委員をお願いしています。委員の紹介や協議の様子については、近々、明峰中のHPにアップしますのでご覧ください。

左記の通り、新年度の学校運営基本方針に「承認」を頂くため、私から案を提示したところ、様々な角度からアドバイスを頂戴しました。最終的に下のポスターに掲載した内容を基本方針として承認いただいたところです。今後、様々な場でポスターを基に保護者の方とも確認していきたいと思っております。

## 令和8年度諫早市立明峰中学校校運営基本方針

### “自分の人生を生きる力”の育成

#### 1 確かな学力を育みます

- ◇全ての子供の学力保障を何より大切にします。
- ◇家庭学習と授業とが連動するよう努めます。
- ◇対話のある学びを目指します。

#### 2 豊かな心を育みます

- ◇相互の思いを尊重し合う学校生活を目指します。
- ◇最後まであきらめずやり抜く逞しさを鍛えます。
- ◇さわやかな挨拶を何より大切にします。

#### 3 健やかな体を育みます

- ◇ネット・電子メディアを適切に使用させます。
- ◇「諫早市中学校部活動在り方等に関する方針」に沿った適切な活動を目指します。
- ◇望ましい食事・睡眠を心がかせます。

#### 4 つながる力を育みます

- ◇幼／保・小・中・高・特支・大学等が存在する諫早市文教地区の強みを生かします。
- ◇生徒会活動の活性化による自治力向上を目指します。
- ◇学校外ともつながるキャリア教育を展開します

明朗・自律・友愛

校訓の下、学校・家庭・地域が  
手を取り合います。